

ナカリ株式会社



- 本社所在地 宮城県加美郡加美町羽場
字山鳥川原 9-28-4
- 主な事業内容 各種米穀の製造及び販売
- 従業員数 65人 (グループ計 150人)



 **健康経営優良法人認定**
2019～2023 認定

健康経営に取り組むきっかけ

2018年に「健康経営セミナー」に参加することになりました。会社の健康=健全な財務・経営がテーマと想定していましたが、文字どおり『社員の健康改善が企業の成長につながる』という内容で衝撃を受けました。会社が社員の健康に深くかかわることが重要であると気づき、「健康経営優良法人」の認定を受けるための準備を整え、2019年から現在まで継続して認定を受けています。



注力している取り組み

最初の1～2年は、日常の取組が『健康経営』に該当しているかどうかを確認し、整理しました。経営者自らが健康意識を持っているか、健康診断結果、メンタルヘルスのケアなどを改めて見直しました。

健康に働くためには社員への意識付けも重要と捉え、健康に対する「情報」の提供にも注力しました。パートナー企業の健康アドバイザーと契約し、健康セミナーを年3回実施しました。その中の1つで「ストレスとタバコ」に関するセミナーでは、



タバコのセミナー



痛みの相談の施術

タバコは、実際に吸い込む煙のほか副流煙が15分間も周囲に害を及ぼすことなど体への影響が大きいことを改めて学ぶことができました。さらに、構内の分煙に取り組むとともに、安全衛生委員会を中心に禁煙活動を行っています。

また、体を使うことも多い職場なので治療院の方を呼んで「痛みの相談」も実施しています。体が気になる社員に20分間のアドバイスと施術を受けてもらいました。

2021年からはメンタルヘルスのアンケートとカウンセラーによる個別面

談も実施し、家族の病気に悩んでいる社員に対しては、健康相談の対象に社員の家族も含めました。その他には、脳検診と歯科健診に通った社員には費用の一部を会社が支給し、3大疾病保険も会社負担で加入しています。保険金は会社に支払われるものが一般的ですが、早く回復し、職場復帰をして欲しいという思いから、当社では社員が直接受け取れるようにしています。さらに、通院などの利便性を向上させるために有給休暇は「30分」から取得できるようにしています。

取り組みの課題

健康に関する情報提供を継続していますが、各社員の個別の健康づくりに対しては強制せずに個人の自主性に任せている部分があり、全ての社員が健康づくりに積極的に参加できていないことが課題です。また、以前は社員同士のコミュニケーション不足により業務に支障が出ることもありました。

取り組みの効果

全社重点方針のテーマの下、社員同士の声を共有する会議を設け、「共有」→「共感」→「納得」→「共走」のアップデートを実施したところ、良好なコミュニケーションが図れるようにしました。さらに、お互いに声を掛け合うことで心のわだかまりが軽減し、繁忙期には他部門とも協力し合えるようになりました。風通しの良い職場環境づくりに取り組むことで、同じ目標を共有する強い組織にも繋がっていくと思います。



「いい会社をつくろう」のポスター

今後の展望をお聞きました！

当社は主食用から加工用原料米までのすべてのお米を提供するオールライスメーカーでSDGsにも積極的に取り組んでいます。中でも「すべての人に健康と福祉を」というテーマは健康経営にもつながり、社員の幸せ、達成感、やりがいを抜きにして伸びる会社はないだろうと考えます。今後も継続的な健康経営により、いつの時代も一番に選ばれるファーストコールカンパニーを目指します。



代表取締役
中村信一郎 氏